



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月1日
東

上場会社名 株式会社ダイショー 上場取引所
 コード番号 2816 URL <http://www.daisho.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松本 洋助
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部総務人（氏名） 堀脇 裕之 (TEL) 092-611-9340
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|-----|----------------------------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 14,723 | 0.1 | 669 | △10.2 | 662 | △10.9 | 408 | △9.7 |
| 27年3月期第3四半期 | 14,709 | 2.4 | 745 | △17.2 | 743 | △17.8 | 452 | △16.2 |
| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 28年3月期第3四半期 | 42.30 | | — | | | | | |
| 27年3月期第3四半期 | 46.84 | | — | | | | | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 15,217 | 7,674 | 50.4 |
| 27年3月期 | 13,979 | 7,414 | 53.0 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 7,674百万円 27年3月期 7,414百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 8.00 | — | 8.00 | 16.00 |
| 28年3月期 | — | 8.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 12.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

28年3月期の期末配当金(予想)12円00銭には、記念配当4円00銭が含まれております。詳細は、本日付で別途公表いたしました「配当予想の修正(創業50周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,700 | 5.6 | 500 | 15.7 | 500 | 15.3 | 280 | 2.6 | 29.01 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 28年3月期3Q | 9,868,800株 | 27年3月期 | 9,868,800株 |
| 28年3月期3Q | 215,999株 | 27年3月期 | 215,999株 |
| 28年3月期3Q | 9,652,801株 | 27年3月期3Q | 9,652,841株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済財政政策の推進を背景に、景気の緩やかな回復が見られるものの、中国や新興国経済の景気減速、個人消費回復の遅れなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、消費者の生活防衛意識は変わらず、節約・低価格志向が恒常化するなかでの販売競争が熾烈化する一方、輸入原材料価格の高騰や物流コストの上昇により収益が圧迫され、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社は、社業の長期持続的成長を目指し、成長分野を中心とした市場開拓の強化と経営の効率化に取り組んでまいりました。当社の最大の強みである開発力を活かし、世の中の「簡単・簡便」ニーズを捉えつつ、新たな付加価値を創造する新製品の拡充に努め、対象とする調理素材を明確にした売場でのメニュー提案を通じ、小売用製品・業務用製品ともに積極的な売上の拡大に努めてまいりました。

製品群別の概況は、以下のとおりであります。

液体調味料群においては、小売用製品では、鍋用スープの最需期期である秋冬市場に向け、「素材を生かす和風鍋」をコンセプトに、老舗料理店など監修の鍋用セットや、『地鶏だし鍋スープ』、『豚だし鍋スープ』など、だしにこだわった和風系鍋スープのラインアップを積極的に拡充いたしました。記録的な暖冬の影響等により苦戦を強いられる状況となりました。業務用製品に対しては、新たな成長の軸として継続的に取り組みを強化しており、ラインアップの充実とメニュー開発・提案への注力で市場の深耕・開拓を進め、大きく売上を伸ばしました。この結果、売上高は101億22百万円（前年同期比101.0%）となりました。

粉体調味料群においては、小売用製品では「味・塩こしょう」類が詰め替え用を中心に好調に推移し、業務用製品も精肉向けを中心に順調に売上を伸ばしました。この結果、売上高は30億44百万円（前年同期比103.2%）となりました。

その他調味料群においては、即食向け製品の「スープはるさめ」類は、ラインアップの充実を図りましたが、小売用製品全体における販売環境は厳しく、売上高15億56百万円（前年同期比89.8%）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は、147億23百万円（前年同期比100.1%）となりました。利益につきましては、増収を達成するなかで製造コスト及び販売コストを抑制し、効率化を進めましたが、原材料高及び物流コストの上昇を吸収するには至らず、営業利益は6億69百万円（前年同期比89.8%）、経常利益は6億62百万円（前年同期比89.1%）、四半期純利益は4億8百万円（前年同期比90.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ12億37百万円増加し、152億17百万円となりました。固定資産が総資産の55.3%を占め、流動資産は総資産の44.7%を占めております。主な資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が18億81百万円、「商品及び製品」が1億48百万円増加し、「現金及び預金」が3億34百万円、「リース資産」が1億57百万円、「建物及び構築物」が1億40百万円減少したことによります。

負債は、前事業年度末に比べ9億77百万円増加し、75億43百万円となりました。流動負債が負債合計の71.5%を占め、固定負債は負債合計の28.5%を占めております。主な負債の変動は、「短期借入金」が5億円、「買掛金」が4億99百万円、「未払金」が3億85百万円増加し、「長期借入金」が2億25百万円、「賞与引当金」が1億55百万円減少したことによります。

純資産は、前事業年度末に比べ2億60百万円増加し、76億74百万円となりました。主な純資産の変動は、剰余金の配当1億54百万円の支出と四半期純利益4億8百万円の計上により「利益剰余金」が2億53百万円増加したことによります。自己資本比率は50.4%となり、前事業年度末に比べ2.6%下降しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期決算短信（平成27年5月8日公表）において発表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰延べる方法を採用しております。

②税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に該当見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,542 | 1,207 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,361 | 4,243 |
| 商品及び製品 | 536 | 685 |
| 原材料 | 358 | 391 |
| その他 | 372 | 314 |
| 貸倒引当金 | △24 | △36 |
| 流動資産合計 | 5,147 | 6,805 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,772 | 2,632 |
| 土地 | 2,529 | 2,529 |
| リース資産(純額) | 1,333 | 1,175 |
| その他(純額) | 1,220 | 1,086 |
| 有形固定資産合計 | 7,855 | 7,424 |
| 無形固定資産 | 90 | 72 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 890 | 918 |
| 貸倒引当金 | △4 | △3 |
| 投資その他の資産合計 | 885 | 914 |
| 固定資産合計 | 8,831 | 8,411 |
| 資産合計 | 13,979 | 15,217 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,343 | 1,843 |
| 短期借入金 | 800 | 1,300 |
| 未払金 | 889 | 1,274 |
| 未払法人税等 | 55 | 183 |
| 賞与引当金 | 332 | 177 |
| 役員賞与引当金 | 20 | 15 |
| その他 | 646 | 601 |
| 流動負債合計 | 4,087 | 5,394 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 225 | — |
| 退職給付引当金 | 404 | 429 |
| 役員退職慰労引当金 | 595 | 631 |
| その他 | 1,253 | 1,088 |
| 固定負債合計 | 2,478 | 2,148 |
| 負債合計 | 6,565 | 7,543 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 870 | 870 |
| 資本剰余金 | 379 | 379 |
| 利益剰余金 | 6,242 | 6,496 |
| 自己株式 | △114 | △114 |
| 株主資本合計 | 7,378 | 7,632 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 35 | 41 |
| 評価・換算差額等合計 | 35 | 41 |
| 純資産合計 | 7,414 | 7,674 |
| 負債純資産合計 | 13,979 | 15,217 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 14,709 | 14,723 |
| 売上原価 | 8,469 | 8,472 |
| 売上総利益 | 6,240 | 6,251 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,495 | 5,581 |
| 営業利益 | 745 | 669 |
| 営業外収益 | 29 | 12 |
| 営業外費用 | 32 | 19 |
| 経常利益 | 743 | 662 |
| 特別損失 | 0 | 2 |
| 税引前四半期純利益 | 742 | 660 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 290 | 251 |
| 四半期純利益 | 452 | 408 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。